

慶應義塾大学 文学部

図書館・情報学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学士（図書館・情報学）の学位を、以下のような資質と能力を有する者に授与する。

個人や機関、団体などにより、生産され記録された経験や情報、知識について、その流通・組織化・提供・利用・保存・制度など諸側面の基礎的な知識の学修を通じて、情報の視点から問題を発見し自ら解決できる総合的な能力の習得をめざす。

そのため、特に次のような資質形成と能力開発により、社会のさまざまな場面で幅広く活躍できる人材を育成する。

- ・ 特定テーマから広範な分野にいたるまで文献と情報を検索、収集、分析する能力
- ・ コンピュータをはじめ情報機器・情報メディアを活用する情報処理能力
- ・ 図書館司書としての基礎的資質と情報専門職としての基盤形成
- ・ 日本語と英語による専門文献の読解能力
- ・ 効果的なプレゼンテーション能力および論理的な文章表現能力

学修の最終成果である卒業論文（卒業試験）は次の審査項目を満たすものとする。

1. テーマ・問題意識が明確である。
2. 先行研究を踏まえている。
3. 方法が目的に適っている。
4. 内容が論理的で一貫している。
5. 形式が学術論文として適切である。